

53
207



始



序

本表ハ開業醫師ガ日常繁忙ノ中ニ在リテ、而モ成スベキダケノ檢索ヲ怠ラセ、マイト云フ老婆心カラ編

醫學博士加信用編纂 臨牀的諸檢査一覽表

血液

血球計算法

トーマス・ツァイス氏血球計及ビビュルケル氏計算室ヲ用フ。赤血球ハ百乃至二百倍(生理的食鹽水)白血球八十乃至二十倍(0.3-1%醋酸水)ニ稀釋。計算室一小區劃四十分ノ一。故ニ一小區劃内ノ血球數ニ四

血色素定量法

ザーリー氏血色素計ヲ便トス(稀釋液十分一定規鹽酸水)

血色素指數

血色素量ヲ赤血球數ニテ除シタル商(血色素一〇〇、赤血球五百萬ノ時)

血球原蟲染色法

血液ヲ「オプエクトグラス」又ハ「デッキグラス」ニ薄ク平等ニ塗抹レ、乾燥後無水「メチール・アルコール」又ハ「アルコホル」・「エーテル」等

ギムサ氏法

ギムサ氏原液(グリユレ製)一滴ニ純正ノ蒸溜水一耗ノ割ニ溶解セル色素液ニ「デツキグラス」ハ血液塗抹面ヲ下ニテ液面ニ浮セ、「オプエクトグラス」ナラバ容器内ニ立テ染色十五分乃至一時間。強キ水流ヲ以テ清洗。乾燥。封固。

マイ・グリユンワルド氏法

血液ヲ塗抹セル儘色素液試薬(一)數滴、數分後更ニ同量ノ蒸溜水追加、數分後水洗。汁又ハ十倍稀釋膽汁粉末液ニ注入、一乃至二日解卵器。

血清

凝集反應

懸滴檢査

百乃至二百倍稀釋血清(生理的食鹽水)一滴ヲ白金耳ヲ用ヒ、「デッキグラス」ニ採リ、培養細菌ノ一白金耳ヲ叮嚀ニ磨滅混和、「ホールオプエクトグラス」ニ載セ鏡檢

試驗管法(ツァーグラー氏窒扶斯血清反應)

市販淺川氏診斷液又ハ純培養菌液(細菌一莖蒸溜水一耗ノ割、0.5%ノ割ニ石炭酸ヲ加フルモ可)

Table with 10 columns: 試驗管番號 (I-X), 血清 (五倍血清), 生理的食鹽水, 診斷液, 三七度(解卵器)二時間(更ニ室温), 血液稀釋度 (10, 20, 40, 80, 160, 320, 640, 1280, 2560), 對照

ツァーグラー氏窒扶斯血清反應簡易法

Table with 4 columns: 試驗管番號 (I-IV), 血清(四又ハ發胞液(倍)), 三七度(解卵器又ハ重盪煎) 一―二四時間, 血液稀釋度 (二五倍, 五〇, 一〇〇, 對照)

沈澱反應(微毒及癩血清ノ「クオリン」反應)

Table with 6 columns: 試驗管番號 (I-VI), 血清(五倍), 生理的食鹽水, 〇.1-0.3%クオリン, 三七度二時間, 血清稀釋度 (10, 20, 40, 80, 160, 320)

補體結合反應(ワッセルマン氏微毒血清反應)

山羊血球免疫家兔血清(ヘモリン)作製并檢定法。脱纖維素山羊血球ヲ數回生理的食鹽水ニテ洗ヒ原血液量ノ同量ニ稀釋セルモノヲ五乃至七日ノ間隔ヲ以テ0.5, 1.0, 2.0%鈣家兔耳殼靜脈ニ注入、最後ノ注射後八日全採血、血清分離、0.5%ノ割ニ石炭酸追加、檢定法

二、「アンチゲン」照内氏「エー・エル」レナ臟器ヲ細碎、0.5%石上清採取、檢定法

Table with 2 columns: 試驗管番號 (I), 生理的食鹽水, 十倍コンプレメント(同前), 三七度一, 十倍山羊血球, 三七度二時間, 結果

三、本試驗

Table with 2 columns: 試驗管番號 (I), 患者血清稀釋度 (10, 20, 40, 80, 160, 320, 640, 1280, 2560), 簡易法

Table with 2 columns: 試驗管番號 (I), 非能働性患者血清, 生理的食鹽水, アンチゲン, コンプレメント, 三七度一, ヘモリン, 5%赤血球, 三七度二時, 稀釋度

沈澱反應(微毒血清)非能働性(五六度三十八泥和)三七度二四

染色細法。レフレル氏メチール・ネール(試薬三)數。エールリッヒ氏液(試薬四)數ハ。グラム氏法(試薬二)一分、無水。チール・ガーベ。色蒸發ヲ度トス。培養基ニヨル大

ヨウトスルノデアルカラ、簡明ニ簡明ヲ手眼トシツ、ソシテイトモ

一枚ノ大ノ紙ニ片隅カラ心ニ
浮テ儘出鱈目ニ書キ込メ見タ、何
シロ種々ノ方法ヲ備ニ一枚ニ納メ

醫學博士加士信用憲編纂 臨牀的諸檢査一覽表

ヨウトスルノデアアルカラ、簡明ニ簡
明ナキ眼トシツ、ソシテイツトモ
無シニ本表ガ出來上ツタト云フ譯
デアアル。擱筆シテ反讀シテ見ルト、
杜撰極マルモノデ、アレカ書キ足ラ
ヌ、コレガ缺ケテ居ルト不備ニ氣付
ク點ガ枚舉ニ追ガ無ク、此儘上梓ス
ルト云フコトハ甚氣ガ咎メルデア
アルガ、モウ一度書キ直ス丈ケノ根
氣ガ無イ、ソレデ横着ナ話ダガ、幸
ニ版ヲ重ヌル機會ヲ得レバ、其際更
ニ一工夫スルコトニ極メタ、然シ粗
雜ナリト雖本表ヲ醫師ノ診察室若
シクハ試驗室ニ掲ゲテ置カレタラ、
本表ガ屹度何程カノ意義ヲ示スコ
トハ疑ナイト惟フ、サレバコソ蕪雜
ナル本表ヲモ敢テ臆面モ無ク公表
スル次第デアアル。
大正十二年六月上浣

編者 吉
發行所 南江堂書店
大正十二年十月十日印刷
正價六拾錢
發行所 東京市本郷區春木町三丁目
南江堂書店
振替口座東京一四九

増菌培養法
「チウス」菌「バラチウス」菌ヲ増菌培養スルニハ、血液數錢ヲ膽汁培養基(滅菌牛膽
汁又ハ十倍稀釋膽汁粉末液)ニ注入、一乃至二日解卵器。

血清

凝集反應
懸滴檢査
百乃至二百倍稀釋血清(生理的食鹽水)一滴ヲ白金耳ヲ用ヒ「デッキグラス」
ニ採リ、培養細菌ノ一白金耳ヲ叮嚀ニ磨滅混和、「ホールオブエクトグラ
ス」ニ載セ鏡檢

試驗管法(ウッダール氏窒扶斯血清反應)
市販淺川氏診斷液又ハ純培養菌液(細菌一莖蒸餾水一莖ノ割、〇・五
%ノ割ニ石炭酸ヲ加フルモ可)

試驗管番號	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
血清	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
生理的食鹽水	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
診斷液	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
血液稀釋度	一〇倍	二〇倍	四〇倍	八〇倍	一六〇倍	三二〇倍	六四〇倍	一二八〇倍	二五六〇倍	對照

ウッダール氏窒扶斯血清反應簡易法

試驗管番號	I	II	III	IV
血清	〇・四	〇・二	〇・一	〇・一
生理的食鹽水	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
診斷液	二・〇	二・五	二・五	二・五
血液稀釋度	二五倍	五〇倍	一〇〇倍	對照

沈澱反應(微毒及癩血清ノ「クオリン」反應)

試驗管番號	I	II	III	IV	V	VI
血清	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
生理的食鹽水	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
診斷液	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
血液稀釋度	一〇倍	二〇倍	四〇倍	八〇倍	一六〇倍	三二〇倍

補體結合反應(ワッセルマン氏微毒血清反應)
山羊血球免疫家兔血清(ヘモリジン)作製并檢定法
脱纖維素山羊血球ヲ數回生理的食鹽水ニテ洗ヒ原血液量ト同量ニ稀釋セルモノ
ヲ五乃至七日ノ間隔ヲ以テ〇・五、一〇、二〇、五〇、一〇〇、二〇〇、五〇〇、一〇〇〇、二〇〇〇、五〇〇〇、一〇〇〇〇ノ割合ニ石炭酸追加
注射後八日全採血、血清分離、〇・五%ノ割ニ石炭酸追加
檢定法

試驗管番號	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
血清	一・〇	〇・七五	〇・五	〇・二五	〇・一	一・〇	一・〇	一・〇
生理的食鹽水	〇・五	〇・二五	〇・五	〇・七五	〇・九	〇・五	一・〇	一・五
十倍コンプレメント(海眞血清)	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
十倍山羊血球	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五	〇・五
血液稀釋度	一〇倍	二〇倍	四〇倍	八〇倍	一六〇倍	三二〇倍	對照	對照

試藥

- (一) マイ・グリューンワルド氏液
グリューンワルド製法又ハ自製法如左
各千倍酸性エオジン及メチレン青同量混和、數日後漏過、濾液乾燥、
殘渣ヲメチレン酒精ニ飽和溶解
- (二) レフレル氏メチレン青液
飽和メチレン青酒精液
〇・〇一%苛性曹達加里水
- (三) チール・ネールゼン氏石炭酸フクシン(ゲンチアナ
紫)液
- (四) エールリツ
色素ヲ、アニリン
アニリン(水)ア
ニリン
- (五) ガーベット氏
酒精
- (六) ワイゲルト
ヘマトキシリン
無水アルコホル

染色法

- 沈澱反應(微毒血清)
非能動性(五六度三
八混和)三七度二四
- 稀釋度
五%赤血球
三七度二時
- ヘモリジン
- 生理的食鹽水
- アンチゲン
- コンプレメント
- 三七度一
- 生理的食鹽水
- 患者血清稀釋度(二
二)
- 簡易法
試驗管番號
非能動性患者血清
生理的食鹽水
アンチゲン
コンプレメント
三七度一
ヘモリジン
五%赤血球
三七度二時
稀釋度
- 培養基
葡萄糖アガール瓦斯發
インドール反
牛乳凝
ラクタムスモルケー變
ナイトラールロート
ラクムスストローゼ
ドリガルスキーコンラン
遠
- マンニトストローゼ赤

終